



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：高校生招へい第4陣（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から高校生及び引率者48名が2019年3月12日～3月19日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本の高校生やホストファミリーとの交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：48名

（内訳）

グループA(23名)：セントマーティンス・エписコパル・スクール、ブルックヘイブン・イノベーション・アカデミー（ジョージア州）

グループB(25名)：トゥペロ・クリスチャン・プレパラトリー・スクール（ミシシッピ州）

【訪問地】

東京都(全員)、和歌山県(グループA)、神奈川県(グループB)

2. 日程

	グループA	グループB
3/12(火)	来日	
3/13(水)	【オリエンテーション】 【講義】日本理解講義 東海大学 アンドラディ久美 氏 【歴史的建造物】浅草寺・仲見世	
	【視察】 杉並アニメーションミュージアム	【視察】江戸東京博物館
3/14(木)	東京都から和歌山県へ移動	【視察】 杉並アニメーションミュージアム

	【最先端技術】 花王エコラボミュージアム 【地域概要講義】 和歌山県庁 【歴史的建造物】 和歌山城公園, 天守閣	【文化体験】 曹洞宗大本山總持寺 座禅体験
3/15(金)	【学校交流】 和歌山県立日高高等学校 【ホームステイ対面式】	【学校交流】 横須賀市立横須賀総合高等学校 【ホームステイ対面式】
3/16(土)	【ホームステイ】 【文化体験】 道成寺 【視察】 稲むらの火の館 【視察】 湯浅醤油有限会社 【歴史的建造物】 湯浅町	【ホームステイ】
3/17(日)	【ホームステイ歓送会】 【文化体験】 ホストファミリーと餅つき 【昼食交流】 印南町の中学生 【ワークショップ（報告会準備）】	【ホームステイ歓送会】 【ワークショップ（報告会準備）】
3/18(月)	和歌山県から神奈川県へ移動	【視察】 明治神宮・原宿
	【講義】 横浜国立大学教授 須川亜紀子 氏	
	【視察】 明治神宮・原宿	【視察】 日本科学未来館
3/19(火)	【成果報告会】 【歴史的建造物】 成田山新勝寺 離日	

3. プログラム記録写真

全グループ（東京都）



3/13 **【講義】** 日本理解講義



3/19 **【歴史的建造物】** 成田山新勝寺

グループA（和歌山県）



3/14【歴史的建造物】和歌山城



3/15【学校交流】
和歌山県立日高高等学校



3/16【視察】湯浅醤油有限会社



3/17【文化体験】ホストファミリーと
餅つき

グループB（神奈川県）



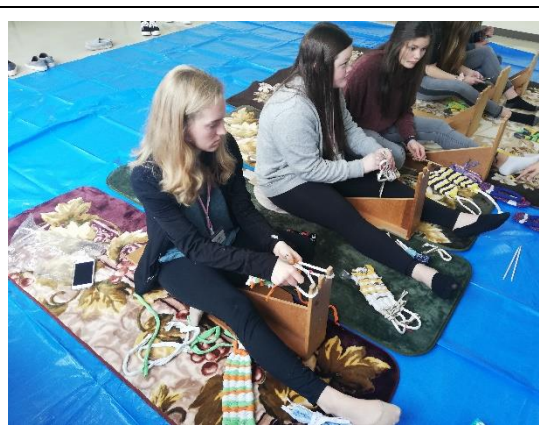
3/14【視察】
杉並アニメーションミュージアム



3/14【文化体験】
曹洞宗大本山總持寺 座禅体験



3/15【学校交流】
横須賀市立横須賀総合高等学校



3/16【ホームステイ】布わらじ作り体験

4. 参加者の感想（抜粋）

グループA（訪問地：和歌山県）

◆ 講義では、日本に滞在するにあたり、日本や生活について必要な情報をいただくことができました。学校の皆さんは、私たちに日本の学校生活を体験してもらおうと、一生懸命準備をしてくださり、感謝しています。花王工場では、製品の原料にこだわっていることを学びました。ホームステイや地元の方々の日々の生活も印象に残っています。近所の方々は、みんな親切で、良い信頼関係を築いていました。道成寺のご住職による絵解き説法も印象に残っています。異なる宗教や文化、年齢の違いを超えて、共通するものがあるということを学びました。楽しいご住職でした。

◆ 講義は素晴らしいものでした。人口の高齢化など、日本の置かれている状況にどうやって対処しているのかを学びました。日本文化についての話を聞き、ますます日本文化が好きになりました。学校交流では日本の生徒さんから歓迎していただき、とても嬉しかったです。美術室に行き、実際に絵を描かせてもらったことも忘れられません。花王工場では徹底したエコの取り組みに驚き、素晴らしいことだと思いました。ゴミを減らし、エネルギー消費を抑えることは現代に必要なことです。もう少し学びたいと思いました。ホームステイでは私のために、一生懸命美味しいものをふるまってくださいました。またアニメが大好きなので、杉並アニメーションミュージアムも楽しい思い出です。

グループB（訪問地：神奈川県）

◆ 初日の講義で、日本の様々な側面を学ぶことができました。人口が1.3億人を超えるのに、ほとんどの家庭が1人もしくは2人の子どもしかいないことに驚きました。また人が多いのに、日本の街はとても清潔で、比較的安全で犯罪件数も少ないことにも驚きました。總持寺を訪問し、日本人は心の平安に大変価値を置いていることを学びました。静寂の中で、瞑想する「座禅」は日本の主な宗教である仏教の重要な一面であることも知りました。横須賀総合高校（YSH）の訪問では、日本の高校が米国の高校と似ていることに驚きましたが、同時に大きな違いもありました。例えば、私たちの高校と同

様、YSHにも制服があります。また生徒数もほぼ同じくらいでした。しかしYSHは私たちの高校よりも幅広いクラブ活動をしています。例えば空手、バレーボール、それにダンスクラブまであるのです。また廊下には生徒によるアート作品が飾られていました。プロみたいに上手なので驚きました。私はカケハシ・プロジェクトを通して、日米間の類似点および相違点を学ぶことができました。日本という国、この国の文化そして人々を、私の心の中の宝物としてずっと大切にしていきたいと思います。

◆ 来日前に日本についての本を読み勉強したのですが、初日の講義で、私の知らなかった日本に出会いました。日本の文化や今日の日本について多くの知識を得ることができました。また日本の学校や学校での一日の流れについて知ることができ、とても興味深かったです。ホームステイは楽しいだけでなくゆったりと落ち着けました。異文化に対して驚きの連続でした。日本人の日常生活がどのようなものなのかを実際に体験することができる素晴らしい体験でした。他にもいろいろ興味深い場所を訪れることができました。今回の経験は、これまで学校で学んできた知識に生命を吹き込んでくれました。とても素晴らしい体験でした。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー（グループA）

体格が大きい割に子供らしさを感じることができました。今まで預かったアジア圏の子供たちとアメリカの子供たちとは、風習が違いうように感じましたが、とてもかわいい子供たちでこちらも元気をもらいました。孫も折り紙や食事などで触れ合うことができ、喜んでいました。かわいい子供たちに巡り合えたことに感謝です。

◆ ホストファミリー（グループB）

初日は緊張していたため、口数が少なかったのですが、2日目の夜は、とても楽しそうに話をしてくれました。2日目に布わらじの製作や海岸までの散歩、祭囃子の体験、浴衣の着付けなどを計画したことで、地域の子供たちとの交流や普段できない体験をしてもらえたと感じています。とても楽しい思い出となりました。

6. 参加者の対外発信

 いいね！ 30件 fork_miles Amazing traditional Japanese style dinner last	 malie_powell • Following Tokyo, Japan malie_powell Japan is such a beautiful country! Today we visited an anime museum, had an authentic Japanese meal on a tatami mat, and visited a Buddhist monk temple! Thank you JICE for this amazing experience! I can't wait to see what happens next! #japan #kakehashi2018 abigail.bogan Yes girl!! Get it!! allisonhayesyoung Beautiful young ladies!! Loving these photos!! Liked by rochelefortner and 299 others 2 DAYS AGO Add a comment...
(グループ A) ホームステイについての発信 (Instagram) 昨晚のホストファミリー宅の夕食はとても美味しい伝統的な日本食でした。今晚はどんな料理かな、待ち遠しいです。	(グループ B) カケハシ・プロジェクトについての発信 (Instagram) 日本はとても美しい国です。今日は、杉並アニメーションミュージアムに行ってから、お昼は畳の上で、正真正銘の日本料理をいただき、それから仏教のお寺に行きました。素晴らしい経験に感謝します。次は何が起こるのかワクワクします。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

Action Plan: (BIA) When we get back to America, we are going to make announcements on the intercom and keeping most details of the trip hidden from other students for the first few weeks to raise interest levels. About a week later, we will open up our Japan club to the student body so that they can come and learn about our trip and the many wonders that lie in Japan. We will also allow them to ask any questions they may have. 	 i. Why we want to share about Japan • We want to create relationships between Japan and America. • We want to share and appreciate Japanese culture in America. • We want to combat stereotypes of Japanese people, culture, and country that may exist in America. • We want to promote understanding and factual information about Japan among our generation.
アクションプランの発表 (グループ A) 学校で発表し、日本のことを紹介する。家族や友人にも自分達の経験を話す。日本とのかけハシになるような活動を行う。(セントマーティンス・エピスコパル・スクール) まずは自分達の経験を話す。興味をもってくれた人のために「日本クラブ」をつくって、興味をもって日本クラブに来てくれた人に日本のことを話す。質問にも答える (ブルックヘイブン・イノベーション・アカデミー)	アクションプランの発表 (グループ B) 日本への理解を深めるために、帰国後、自分たちが見聞きしたことを様々な媒体を通じて、広く共有していく。訪日団全員で、コミュニティの人々を対象にアクションプランを実施する。実施時期は、2019年3月31日に地元で開催される祭りを皮切りに、帰国後2か月を目途に(3学年は大学に進学し、また2か月後には全員が休暇に入るため、帰国後2か月間が訪日団全員集まり活動できる期間であるため)近隣の学校、新聞社などのメディア、企業を訪問し、プレゼンテーションを行う。またこれらの活動と平行して、日本での経験を編集したビデオを製作し、SNSで配信する。

